

Vol.5

2024年
3月15日発行

WE LOVE TENNOJI-KU

万博開催まで約**400日!**

話題のライドシェアと大阪・関西万博についてお伝えします!



万博会場への交通シミュレーションはどうなっているの?

万博期間中はのべ2,800万人、1日22万人の来場者を想定しています。会場の夢洲には1日あたり、駅シャトルバスで521便、空港直行バスで72便、中長距離バスで130便、シャトルバスで755便、団体バスが300~1,000便、タクシーで700台が通行し、繁忙期は閉会間近の10月、時間帯は8時から10時、IR工事車両は1日2,000車両が通ると試算しています。

改めて整理

国のライドシェア議論状況と今後の方針

結論から申し上げますと国が示す指針では、「ライドシェアの導入に向けたタクシー業界の規制緩和」が正しい認識となります。海外で実施されているような、個人がアプリを用いて自由に配車サービスを行なう案とはなっていない。

タクシー会社が運行責任者として登録し、一般車両や普通免許保持者が、タクシー会社の責任のもと、タクシー業務ができるというものです。もちろん、最終的には個人が自家用車をタクシーとして営業する白タクの解禁まで目指

していきと思いますが、初案としては上記となります。

ならばタクシー会社が個人に業務委託すれば実質白タク可能じゃん!と思うかもしれませんが【業務委託はNG】となっています。

つまり、タクシー会社と直接雇用契約が必要のため個人で自由に参入できるわけではありません。ここまでが国の議論となりますが、ここからどこまで要件が緩和されるかは2024年6月を目途に取りまとめが行われます。

そもそも...

ライドシェアって何?

ライドシェアとは、「Uber (ウーバー)」などのアプリを介した配車サービスで、一般ドライバー (普通免許保持者) の自動車を相乗りすることを指します。車の空いた座席を活用し、他者とガソリン代などを負担し合うことで交通費が節約できるため、海外で安価な交通手段として広く浸透しています。

POINT!!

現時点の計画では万博会場にライドシェアタクシーでは行けません!

記事執筆時点 (2024年2月末) では、2025年日本国際博覧会協会が決定している輸送計画において白ナンバー (いわゆる一般車両) は夢洲・咲州に入れません! これは交通渋滞を回避するために決定されたもので、万博関係車両・タクシー車両・IR工事車両の3つが主に夢洲・咲州へ入ることができます。タクシー車両は既存のタクシーを指し、現時点ではライドシェア (白タク) は対象外となっています。

交通量からみるライドシェアの実現性

現状の交通シミュレーションでは大阪・関西万博開催中、一部の道路で稼働率が98%を超える可能性が示されています。そこでIR工事車両は開会中入場を制限すべきではという議論もなされています。この状況下でライドシェア車両が運行して問題ないのかというと、交通量から考えると現実的には厳しいでしょう。

アクセスを容易にするためのライドシェア車両が結果的に万博全体のアクセス効率を下げってしまうという本末転倒な未来が想起されます。そのようなことが起こらないように、きっちり精査していきます。

大阪市にとって

ライドシェア導入はどう考えるべき?

須藤しょうたの目線



一旦、ライドシェア議論から万博を切り離して考えていきましょう。今後の少子高齢化社会において日本全国でタクシー運転手が不足することは確実です。それは大阪市も例外ないでしょう。なので、10年後20年後を見据えてライドシェアの活用は進めていくべきです。ただし、一足飛びに議論を進めるのではなく、地域にあわせて活用推進を進めていくべきだと思います。

言葉だけが先行し、来場者や市民が不利益を被らないように論点整理を行ない、与党として国との調整も行なっていきます。安全で便利な大阪をめざします!



MO-ST-UP-TO-D-ATE-INFO-RMATION

TENNOJI-KU MIN NEWS



Osaka City Museum of Fine Arts
改修工事中の大阪市立美術館



須藤しょうたの目線



改修中の

大阪市立美術館を視察してまいりました！

天王寺動物園・市立美術館・慶沢園の三位一体の改革で教育文化施設の魅力をグレードアップ！
足高前市議が10年以上かけ、3施設の魅力アップを市に提言してきました。その成果が花開くとき！
てんしばは明るく綺麗でBBQもできる公園施設に、
天王寺動物園は施設改修が進み大人も子どもも楽しめる体験学習施設へ、
市立美術館と慶沢園は大規模改修で貴重な文化財を数多く取り扱う社会教育施設へ。
文教地域である天王寺の魅力がさらに深まっていきますね。

大阪市立美術館改修の主なポイント

1 美術館としての機能確保(老朽化対策)～開館(1936年)以来の抜本的改修

- 開館(1936年)以来となる設備更新(エレベーター増設)により展示替による閉館期間を減少させ、開館日数を増やし、市民が美術品を鑑賞する機会を増加
- 収蔵庫を拡充させ、市民の貴重な財産である収蔵品を確実に継承
- 空調機器や展示ケースの更新等、展示・観覧環境を充実

2 利用者サービスの向上

- 無料エリア(エントランスホール、ラウンジ等)を広く設置し、より多くの方に「美術館に親しみ」を持っていただく
- 「存在が魅力となるような」カフェやミュージアムショップを整備し、美術館の魅力向上を図る
- 地上レベルでのエントランス新設(エスカレーターで1階へ)、本館と地下展示会室間など動線も改善
- トイレをはじめとする各種サービス設備を一新

3 教育普及活動の向上

- 3階(旧講堂)にアトリエを設置。多様なワークショップ等の展開も視野に入れる

4 慶沢園との連携

- 慶沢園を臨むデッキを新設。階段やエレベーターを設置し、美術館から慶沢園へのアプローチも改善

大阪市立美術館および慶沢園
2025年3月までにオープン予定

天王寺公園内の慶沢園及び長生庵はリニューアル工事のため、令和6年4月1日(月曜日)から休園いたします。

大阪市立美術館改修後のイメージ



次年度は区内25台の防犯カメラが更新されます！



『安全安心を担保する防犯カメラ』
時間経過と共に能力が落ちた防犯カメラが一気に25台、新しくなります



実はその予算・・・
区内の団体様からのご寄付になります。
旧天王寺自家用自動車協会の解散に伴い、余った財産を寄付いただきました。おかげさまで、防犯カメラ25台、区民センターのグランドピアノ1台、公用車1台を新調することができました。ご厚意、心より感謝申し上げます。

ご厚意に甘えるだけではなく、今後も適切に予算要求をおこなってまいります。

本紙は掲載の皆様の協賛・取材協力により、制作されております

蓮美幼児学園
株式会社バルト
サンエール住宅

(株)千勝不動産
赤松種苗株式会社

(順不同)

区民ニュースにご協力いただける団体様がありましたら、須藤市政事務所へご連絡ください。

発行者

大阪市議員 天王寺区選出

すどろ
須藤しょうた

ホームページやSNSで最新情報発信中！



公式ホームページ
sspo.jp

ツイッター
@sudo_shota



本紙に関するお問い合わせ先

須藤しょうた市政事務所

〒543-0026
大阪市天王寺区東上町9-15 アバンテ東上町2F
TEL 06-6710-4544

※デバイスによっては読み取れない場合があります